41010425

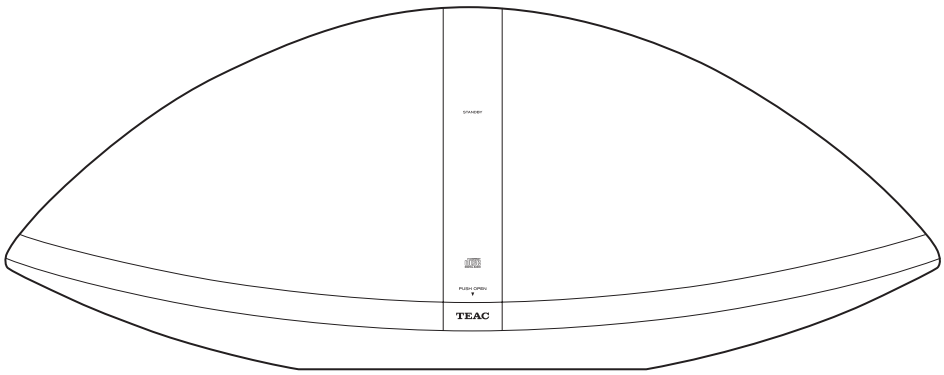
TEAC

取扱説明書

SR-100iSE

CDサウンドシステム

ティアック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。
また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに
大切に保管してください。
末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。



Made for iPod iPhone

COMPACT disc DIGITAL AUDIO

目　次

目　次 2
安全にお使いいただくために 3
お使いになる前に 6
ディスクについて 7
USB機器について 8
MP3/WMAについて 9
本機でiPod/iPhoneを使うには 9

AUX

接　続 10
リモコンの使い方 11
各部の名前とはたらき(本体) 12
各部の名前とはたらき(リモコン) 14
時刻合わせ 16
基本操作 17

AUX

接続した機器の音を聴く 19

iPod

iPodを聴く 20

CD **USB**

ディスクを聴く 22
USBメモリーを聴く 23
基本再生 24
プログラム再生 26
リピート再生 28
シャッフル再生 29
MP3/WMAファイルの再生順 29

FM

FMラジオを聴く 30
FM放送局のプリセット 31

目覚ましタイマー 32

困ったときは 33

仕　様 34
保証とアフターサービス 35

MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.

This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft.

iPod and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

"Made for iPod" and "Made for iPhone" mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.
Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.

Other company names and product names in this document are the trademarks or registered trademarks of their respective owners.

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

警告	**以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
 電源プラグをコンセントから抜く	**万一、異常が起きたら** **煙が出たり、変なにおいや音がするときは** **機器の内部に異物や水などが入ったときは** **この機器を落としたり、カバーを破損したときは** すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)に修理をご依頼ください。
 禁止	**電源コードを傷つけない** **電源コードの上に重いものをのせたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きにしない** **電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしない** コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。万一、電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)に交換をご依頼ください。
	付属の電源コードを他の機器に使用しない 故障、火災、感電の原因となります。
	交流100ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し(20cm以上)離して置く **ラックなどに入れるときは、機器の天面から15cm以上、背面から10cm以上のすきまをあける** すきまをあけないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
	この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしない 火災・感電の原因となります。
	この機器の通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
 指示	**電源プラグにほこりをためない** 電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。電源プラグを抜いてから、ゴミやほこりを取り除いてください。
 禁止	**機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない** 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。
 分解禁止	**この機器のキャビネットは絶対に外さない** キャビネットを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)にご依頼ください。
	この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。

次のページに続きます

安全にお使いいただくために(続き)

⚠ 注意	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 電源プラグをコンセントから抜く	**移動させる場合は、電源のスイッチを切るか、またはスタンバイにし、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す** コードが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります
	旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く 通電状態の放置やお手入は、漏電や感電の原因となることがあります。
 指示	**オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する** **また、接続は指定のコードを使用する** それ以外の物を使用すると故障、火災、感電の原因となります。
	ヘッドホンを使うときは、電源を入れる前に音量を最小にする 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
	この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。
	この機器には、付属の電源コードを使用する それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。
 禁止	**ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない** **湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない** **調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない** 火災・感電やけがの原因となることがあります。
	電源コードを熱器具に近付けない コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 必ずプラグを持って抜いてください。
 禁止	**濡れた手で電源プラグを抜き差ししない** 感電の原因となることがあります。

電池の取り扱いについて

本製品は電池を使用しています。誤って使用すると、発熱、発火、液漏れなどの原因となりますので、以下の注意事項を必ず守ってください。

⚠ 注意	電池に関する注意
指示	**電池を入れるときは、極性(プラス ⊕ とマイナス ⊖)の向きに注意し、11ページに表示されているとおりに正しく入れる** 向きを間違えると破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
指示	**長時間使用しないときは電池を取り出しておく** 液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もしも液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。
禁止	**指定以外の電池は使用しない** 破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
分解禁止	**金属製の小物類と一緒に携帯、保管しない** ショートして液もれや破裂などの原因となることがあります。
分解禁止	**分解しない** 電池内の酸性物質により、皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。

愛情点検

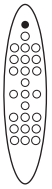
電源ケーブルや本体に異常がないか、定期的に点検してください。
内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。
5年に1度は、販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)に内部の点検をご依頼ください。
費用についてはお問い合わせください。

お使いになる前に

付属品の確認

万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店または弊社AVお客様相談室(裏表紙に記載)にご連絡ください。

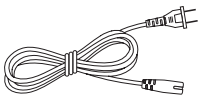
リモコン(RC-1265)×1



リモコン用 コイン型リチウム電池(CR2025)×1



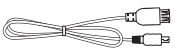
電源コード×1



FMアンテナ×1



USBケーブル×1



取扱説明書(本書)×1

保証書×1

使用上の注意

- ディスクが内部に入っているときに、本機を傾けないでください。故障の原因になります。
- 再生中はディスクが高速回転しているので本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つける恐れがあります。
- 本機を移動したり、引っ越しなどで梱包する場合は、必ずディスクを取り出してください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。
- 本機がスタンバイ状態のときは、待機電力が消費されます。
- テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたまま近くにあるテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。
- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。変色や変形、故障の原因となります。

お手入れ

トップカバーやパネル面の汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。
化学ぞうきんやシンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

⚠ **お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。**

結露現象について
本機を寒い戸外から暖かい室内に持ち込んだり、設置した部屋の暖房を入れた直後などには、動作部やディスクの読取りレンズに水滴がついて正常に動作しないことがあります。この場合は、電源を入れて1～2時間そのまま放置してください。正常に再生できるようになります。

ディスクについて

本機で再生できるディスク

「COMPACT disc DIGITAL AUDIO」ロゴマークのあるCD(12cm)

8cmCDは使用しないでください。

音楽CDフォーマットで正しく記録され、ファイナライズされたCD-RおよびCD-RW。
または、MP3/WMAファイルが記録され、ファイナライズされたCD-RおよびCD-RW。

本機は上記のディスクを再生することができます。上記以外のディスクは再生できません。

⚠ **上記以外のディスクを再生すると、大音量のノイズを発生してスピーカーを破損したり、聴覚を傷付ける恐れがあります。上記以外のディスクは絶対に再生しないでください。**

- コピーコントロールCDやDual Discなど、CDの標準規格に準拠していない特殊なディスクは正常に再生できないことがあります。本機で特殊なディスクを使用した際の動作や音質については保証致しかねます。特殊なディスクの再生に支障がある場合は、該当するディスクの発売元にお問い合わせください。

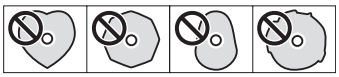
CD-R/CD-RWについて

本機は音楽CDフォーマット(CD-DA)とMP3/WMA形式で記録されたCD-R/CD-RWを再生することができます。

- CDレコーダーで作成したディスクは、忘れずにファイナライズしてください。
- ディスクの品質、録音の状態によっては、再生できないことがあります。詳しくはお手持ちの機器の説明書をお読みください。
- CD-RやCD-RWディスクの取り扱いについてご不明な点がある場合は、直接ディスクの発売元にお問い合わせください。

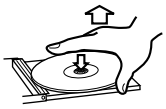
使用上の注意

- 8cmCDは使用しないでください。故障の原因になります。
- ヒビが入ったディスクは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。
- ディスクにはラベルなどを貼らないでください。ディスクにセロハンテープやレンタルCDのシールなどをはがしたあとがあるもの、またシールなどから糊がはみ出ているものは使用しないでください。そのまま本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。
- ディスクのレーベル面に何か書き込むときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなど、先端の固いペンを使うと、ディスク面を傷つけて録音/再生ができなくなる場合があります。
- 市販のCD用スタビライザーは、絶対に使用しないでください。再生できなくなったり、故障の原因となります。
- ハート形や八角形など特殊形状のCDは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。



ディスクの取扱い

- ディスクは、必ずレーベル(印刷)面を手前にしてセットしてください。
- 信号録音面(レーベルがない面)に傷、指紋、汚れなどがあると、再生時にエラーの原因となることがありますので、お取り扱いにはご注意ください。
- ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押しながら、ディスクの外周部分を手ではさむように持ってください。



取り出し方



持ち方

次のページに続きます

ディスクについて (続き)

ディスクの保存について

● 使用後のディスクは、必ずケースに入れて保管してください。そのままディスクを放置するとそりやキズの原因となります。

● 直射日光が当たる場所や、高温多湿の場所には放置しないでください。ディスクが変形・変質して、再生できなくなるおそれがあります。

● CD-R/CD-RWは、通常のCDと比べて熱や紫外線の影響を受けやすいため、直射日光が当たる場所や熱を発生する器具の近くなどに長時間放置しないでください。

● ディスクの汚れは音飛びや音質低下の原因となりますので、いつもきれいに清掃して保管してください。

お手入れ

● 信号録音面に指紋やほこりがついたら、柔らかい布で内側中心から外側へ直角方向に軽く拭いてください。



● レコードクリーナー、帯電防止剤、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。

USB機器について

本機で使用できるUSB機器

● 本機は、USBマスストレージクラスデバイスにのみ対応しています。お使いのUSB機器がUSBマスストレージクラスであるかは、直接USB機器の発売元にお問い合わせください。

● 最大消費電流が、100mA以下の機器のみ使えます。
ハードディスクドライブやCD/DVDドライブなどは使用できません。
USBメモリーをお使いください。
※ 本説明書では接続できるUSB機器を「USBメモリー」と記載しています。

● 使用可能フォーマットは、FAT16/32です。

注 意

● 最大消費電流が100mA以上の機器は使わないでください。

● セキュリティ機能等の特殊機能がある機器は使わないでください。

● 2つ以上の区画に分かれている機器は使わないでください。

● USBハブを介してUSB機器を使うことはできません。

● 機器の状態によっては正常に動作しないことがあります。

MP3/WMAについて

本機はCD-R/CD-RWやUSBメモリーに記録されたMP3/WMAファイルを再生することができます。

● 再生可能オーディオファイルフォーマット

MP3 (拡張子「.mp3」)
ビットレート　8kbps ～ 320kbps
サンプリング周波数　16kHz ～ 48kHz
WMA (拡張子「.wma」)
ビットレート　48kbps ～ 192kbps
サンプリング周波数　32、44.1、48kHz

※ DRM(Digital Right Management)には対応していません。

● 2GB以上のファイルは再生できません。

ファイル情報の表示について

本機のディスプレーには半角のアルファベットと数字(1バイト文字)しか表示できません。

● ファイル情報に日本語や中国語などの全角文字(2バイト文字)が使われている場合、再生は出来ますがディスプレーに正しく表示できません。

パソコンを使って MP3/WMAファイルを作成する際の注意

● ファイル名には必ず拡張子を付けてください。拡張子のないファイルは認識できません。

● CD-R/CD-RWへの記録後は、クローズセッション(ディスクの作成を完了)してください。クローズセッションされていないディスクは再生できません。

● 本機で対応できる最大フォルダー数 / ファイル数(曲数)は下記になります。フォルダー数 / ファイル数どちらも最大数を超えて記録されている場合は正しく再生できません。

●最大フォルダー数 ・・・・・・・・・・・・ 300
(ディスプレー表示は"99"まで)

●最大ファイル数 (各フォルダー) ・・・・・ 650
(ディスプレー表示は"99"まで)

本機でiPod/iPhoneを使うには

本機で使用できるiPod/iPhone

本機で使用できるiPod/iPhoneについては、下記の弊社ホームページのiPod対応表をご覧ください。

http://www.teac.co.jp/audio/teac/support_ipod.html

iPod/iPhone用ソフトウェア

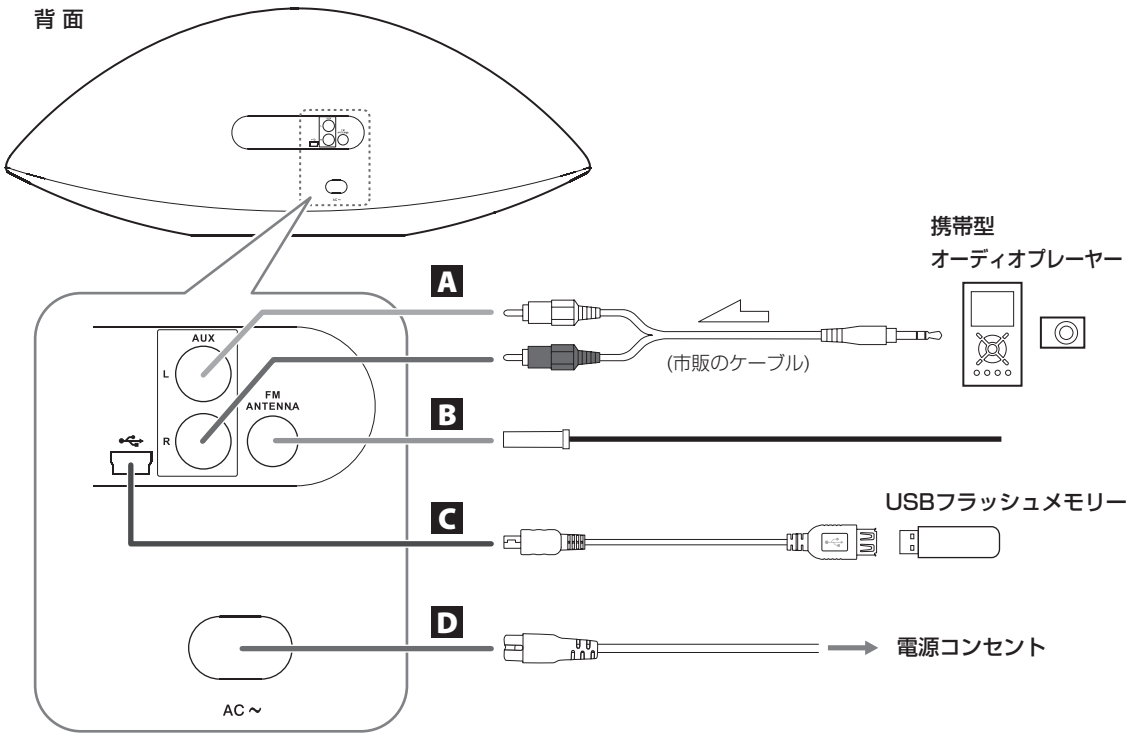
お使いのiPod/iPhoneが本体やリモコンの操作ボタンで正常に動作しない場合、最新のiPod/iPhone用ソフトウェアにアップデートすることで問題が解決することがあります。下記サイトにアクセスして最新のソフトウェアをダウンロードしてください。

http://www.apple.com/jp/downloads/

接　続

⚠ 全ての接続が終わってから電源をオンにしてください。

- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。
- ノイズ発生の原因となるので、各接続ケーブルを電源コードと一緒に束ねないでください。



A **アナログ音声入力端子 (AUX)**

市販のRCAピン-ステレオミニケーブルを使ってを使って、携帯型オーディオプレーヤーなどのヘッドホン端子(または音声出力端子)と接続して、本機で音声を再生します。

白のピンプラグ ➡ 白の(L)端子
赤のピンプラグ ➡ 赤の(R)端子

- プレーヤーのヘッドホン端子と接続した場合は、プレーヤー側の音量を調節しないと、本機から音が聴こえないことがあります。
- プレーヤー側の音量を上げすぎると、音が歪むことがあります。その場合は、まず接続した機器の音量を歪みが無くなるまで小さくしてから、本機の音量を調節してください。

B **FMアンテナ**

付属のFMアンテナを接続します。FM放送の受信中にこのアンテナを伸ばして、受信状態が一番良い位置を探してください。

C **USB(⇢)ポート**

付属のUSBケーブルを使って、USBメモリーを接続します。

D **電源コード**

全ての接続が終わったら、電源プラグをAC100Vの電源コンセントに差し込んでください。

- 長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

⚠ 注意
交流100ボルト以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因になります。また、電源の抜き差しは、必ずプラグを持って行ってください。

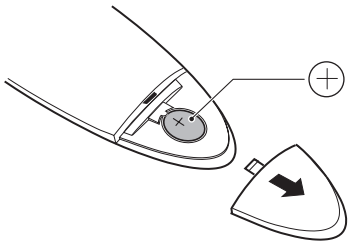
リモコンの使い方

使用上の注意

⚠ 乾電池を誤って使用すると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。5ページの注意をよく読んでお使いください。

- リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて、5メートル以内の距離で操作してください。本体とリモコンの間には障害物を置かないでください。
- 本体のリモコン受光部に日光や照明があたると、リモコン操作ができないことがあります。その場合は本機を移動してみてください。
- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。

電池の入れ方



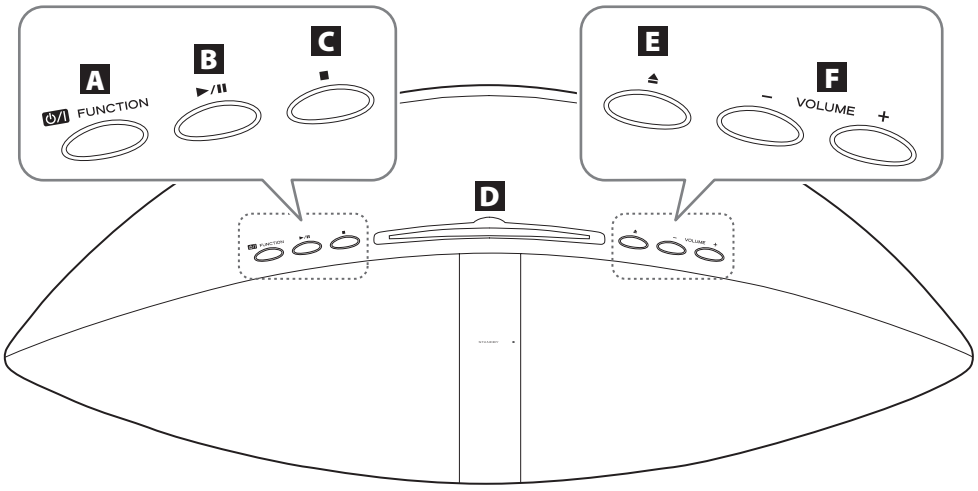
1. リモコン裏面のフタを外します。
2. ＋の面を外側にして、コイン型リチウム電池(CR2025)をセットします。
3. フタを閉めます。

電池の交換時期

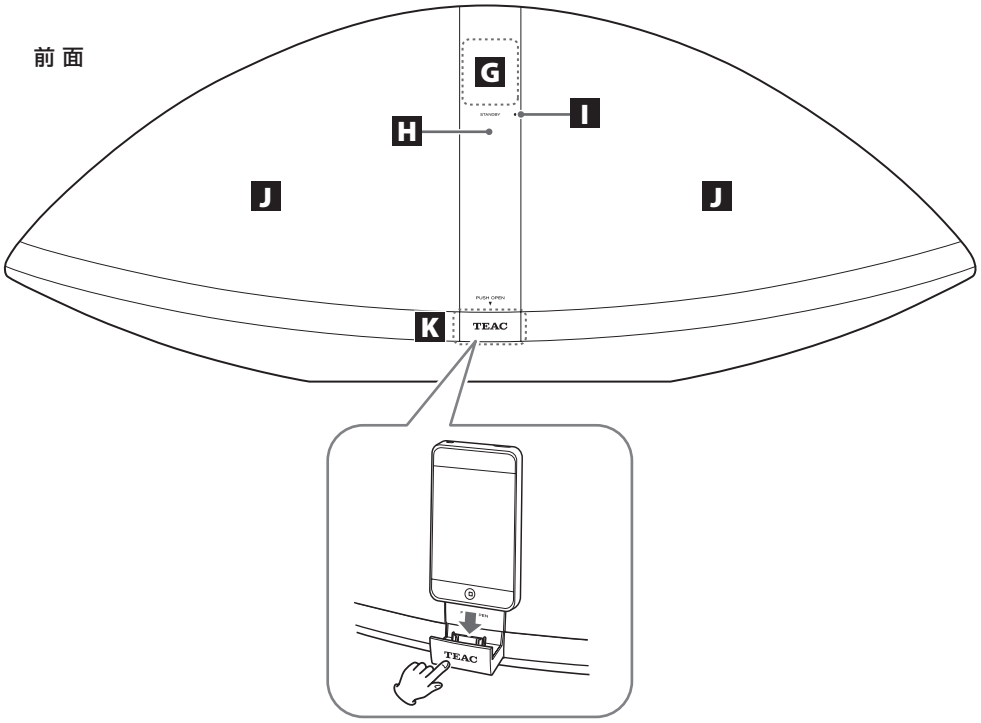
操作範囲が狭くなったり、操作キーを押しても動作しない場合は、新しい電池に交換してください。
使い終わった電池は電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村指定の廃棄方法に従って捨ててください。

各部の名前とはたらき(本体)

上 面



前 面



A **電源(⏻/I)/入力切換ボタン(FUNCTION)**

電源のオン/スタンバイ(オフ)を切り換えます。

電源をスタンバイ(オフ)にするには、このボタンを3秒以上押します。

iPodがドックにセットされていないとき

➡「ECO PWR」が数秒間ディスプレーに表示され、スタンバイ(オフ)になります。スタンバイインジケーターが点灯します。

iPodがドックにセットされているとき

➡ ディスプレーに時計が表示され、iPodが充電されます。iPodをドックから抜いて90秒以上経つと、スタンバイ(オフ)になり、スタンバイインジケーターが点灯します。

また、このボタンを押すたびに入力ソースが切り換わります。

※ 本説明書での「iPod」表記は、「iPhone」も含めて「iPod」と記載しています。

B **再生/一時停止ボタン(►/❚❚)**

CDモード、USBモードで再生を開始/一時停止します。

C **停止ボタン(■)**

CDモード、USBモードで再生を停止します。

D **ディスク挿入口**

ディスクはレーベル(印刷)面が前になるように挿入してください。

E **取出しボタン(▲)**

ディスクを取り出します。

F **音量ボタン(VOLUME)(+/–)**

音量を調節します。

また、時計や目覚ましタイマーの設定に使います。

G **ディスプレー**

時計やトラックナンバーなどを表示します。

H **リモコン受光部**

リモコンを使用するときは、リモコンの先端をここに向けて操作してください。

I **スタンバイインジケーター**

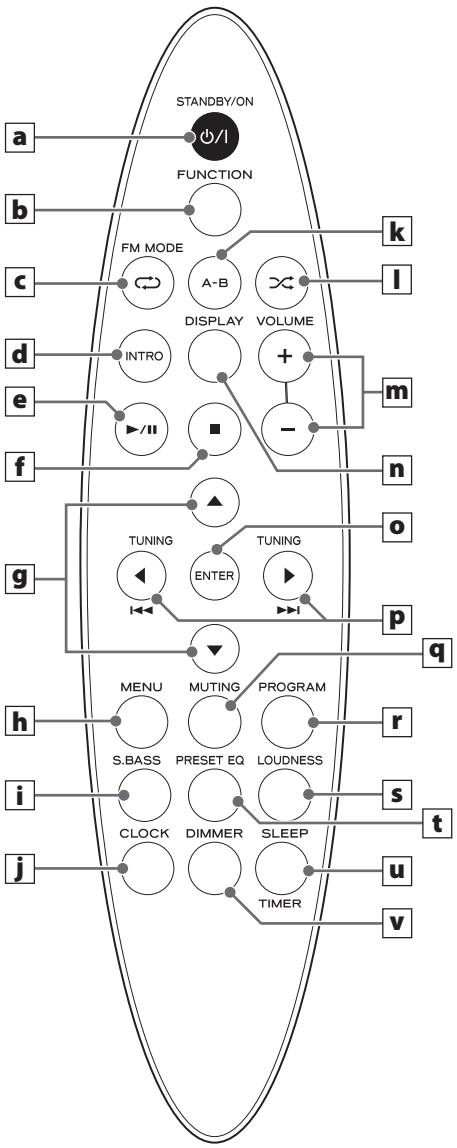
スタンバイ(オフ)のときに点灯します。

J **スピーカー (ステレオ)**

K **iPodドック**

「TEAC」マークを押してドックを開き、iPodをコネクターに接続します。
使用しないときは、閉じておきます。

各部の名前とはたらき(リモコン)



本体とリモコンに同じ機能のボタンがある場合、この取扱説明書ではいずれかのボタンを使って説明していますが、記載されていない方のボタンも同様に使えます。

a 電源ボタン(STANDBY/ON)(⏻)

電源のオン/スタンバイ(オフ)を切り換えます。

電源をスタンバイ(オフ)にしたときに、iPodがドックにセットされていない場合

➡「ECO PWR」が数秒間ディスプレーに表示され、スタンバイ(オフ)になります。スタンバイインジケーターが点灯します。

電源をスタンバイ(オフ)にしたときに、iPodがドックにセットされている場合

➡ ディスプレーに時計が表示され、iPodが充電されます。iPodをドックから抜いて90秒以上経つと、スタンバイ(オフ)になり、スタンバイインジケーターが点灯します。

b 入力切替ボタン(FUNCTION)

このボタンを押すたびに入力ソースが切り換わります。

c FMモード(FM MODE)/リピートボタン(REPEAT)(🔁)

FMラジオ受信中に、ステレオとモノラルを切り換えます。

CDモード、USBモード、iPodモードでリピート再生に使います。

d イントロボタン(INTRO)

CDモード、USBモードで曲の頭の部分だけを連続して再生するのに使います。(25ページ)

e 再生/一時停止ボタン(►/❚❚)

CDモード、USBモードで再生を開始/一時停止します。

f 停止ボタン(■)

CDモード、USBモードで再生を停止します。

g スクロールボタン(▲/▼)

CDモード、USBモードでフォルダーを選ぶのに使います。(MP3/WMAディスクとUSBメモリーのみ)

iPodモードで、iPodのメニューのスクロールに使います。iPodのクリックホイールと同じ機能です。

FMモードで、プリセットした放送局を選ぶのに使います。

h メニューボタン(MENU)

iPodモードで、iPodの前のメニューに戻るのに使います。iPodのMENUボタンと同じ機能です。

i S.BASSボタン

低音を強調するのに使います。

j 時計ボタン(CLOCK)

ディスプレーに時計を表示します。

電源がスタンバイ(オフ)のときに、時計を合わせるのに使います。(16ページ)

k A-Bボタン

CDモード、USBモードで部分リピートの設定をするのに使います。(28ページ)

l シャッフルボタン(⤮)

CDモード、USBモード、iPodモードでシャッフル再生に使います。

m 音量ボタン(VOLUME)(+/-)

音量を調節します。

また、時計や目覚ましタイマーの設定に使います。

n ディスプレーボタン(DISPLAY)

CDとUSBメモリーの再生中に、曲の情報を表示するのに使います。

o エンターボタン(ENTER)

iPodモードで、メニューの選択の確認に使います。iPodのクリックホイール中央のボタンと同じ機能です。

p 選局(TUNING)/
カーソル(◀/▶)/
スキップ(I◀◀/▶▶I)ボタン

CDモード、USBモード、iPodモードで前または次の曲にスキップします。押し続けると、早送り/早戻しができます。

FMラジオ受信中に、選曲に使います。

q 消音ボタン(MUTING)

一時的に音を消します。

r プログラムボタン(PROGRAM)

CDモード、USBモードでプログラム再生に使います。(26ページ)

FMモードで放送局をプリセットするのに使います。(31ページ)

s LOUDNESSボタン

小さな音量のときに、聴こえにくい低音と高音を増強して補正するのに使います。

t イコライザーボタン(PRESET EQ)

音質を選ぶのに使います。(18ページ)

u スリープ(SLEEP)/タイマー (TIMER)ボタン

スリープタイマーの設定に使います。(18ページ)

電源がスタンバイ(オフ)のとき、目覚ましタイマーの設定に使います。(32ページ)

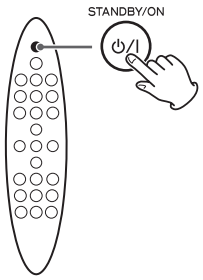
v ディマーボタン(DIMMER)

ディスプレーの明るさを調節します。

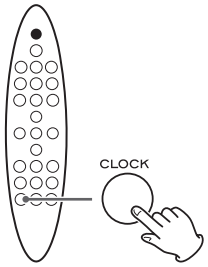
時刻合わせ

お使いになる前に、現在時刻の設定をしてください。

1 **電源がオンになっている場合、電源ボタン(STANDBY/ON)(⏻/I)を押してスタンバイ(オフ)にする。**



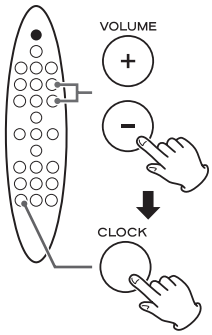
2 **時計ボタン(CLOCK)を「CLK SET」が表示されるまで繰り返し押す。**



「時」表示が点滅します。

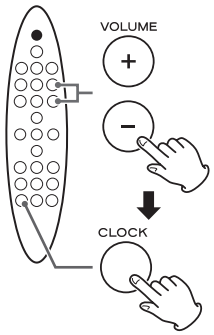
- 30秒以上放置すると、時刻合わせモードは解除されます。

3 **音量ボタン(VOLUME)(+/–)を押して「時」を合わせ、時計ボタン(CLOCK)を押す。**



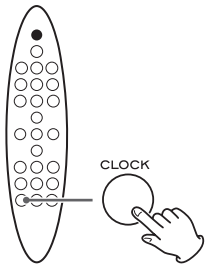
「分」表示が点滅します。

4 **音量ボタン(VOLUME)(+/–)を押して「分」を合わせ、時計ボタン(CLOCK)を押す。**



時刻合わせが終了し、合わせた「分」の0秒からスタートします。

時計の表示

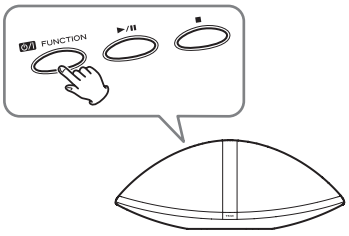


時計ボタン(CLOCK)を押すと、ディスプレーに時計が数秒表示されます。

基本操作

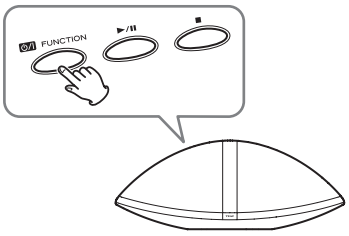
ここでは、どのモードでも共通の操作を説明します。

1 電源ボタン(STANDBY/ON)(⏻)を押して電源をオンにする。

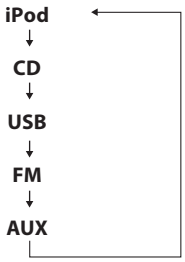


● 最後に選択されていたソースのモードで電源がオンになります。

2 入力切換ボタン(FUNCTION)(電源ボタンと同じボタン)を押して、ソースを選ぶ。

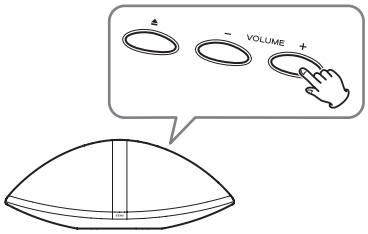


入力切換ボタン(FUNCTION)を押すたびに、以下のように入力ソースが切り換わります。



● 外部接続された機器を聴くには、「AUX」を選んでください。

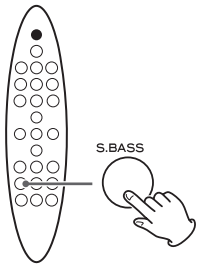
3 ソースを再生し、音量ボタン(VOLUME)(+/–)を押して音量を調節する。



音量は最小(00)から最大(31)まで調節できます。

低音を強調して聴く(S.BASS機能)

低音を強調して聴くことができます。

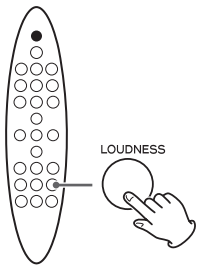


S.BASSボタンを押します。再度押すと機能がオフになります。

● LOUDNESS(ラウドネス)機能をオンにすると、S.BASS機能は自動的にオフになります。

LOUDNESS(ラウドネス)機能

小さな音量のときに、聴こえにくい低音と高音を強調して聴くことができます。通常の音量で聴くときは、この機能をオフにしてください。



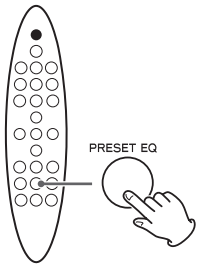
LOUDNESSボタンを押します。再度押すと機能がオフになります。

● S.BASS機能をオンにすると、LOUDNESS機能は自動的にオフになります。

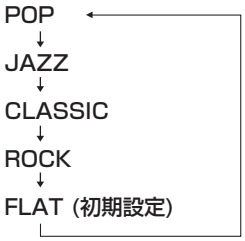
基本操作 (続き)

イコライザー

お聴きの曲のジャンルに合わせた音質や、お好みの音質にコントロールすることができます。



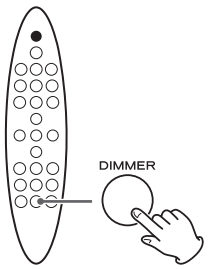
イコライザーボタン(PRESET EQ)を押すたびに、以下のように音質が切り換わります。



● iPodや接続したオーディオプレーヤー側でイコライザーをご使用の場合、SR-100iSEのイコライザーと併せて使うと、音質が意図したものにならないことがあります。SR-100iSEのイコライザーとiPodやオーディオプレーヤー側のイコライザーを併せて使用しないことをおすすめします。

ディマー

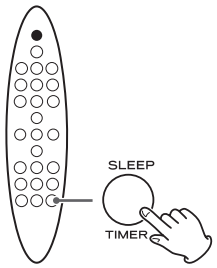
ディスプレーの明るさを調節します。



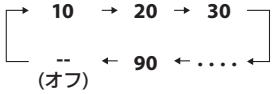
ディマーボタン(DIMMER)を押すと、ディスプレーの明るさを3段階に切り換えられます。

スリープタイマー

一定の時間が過ぎると電源をスタンバイ(オフ)にします。



スリープボタン(SLEEP)を押すたびに、10分きざみでスタンバイ(オフ)になる時間が変わります。

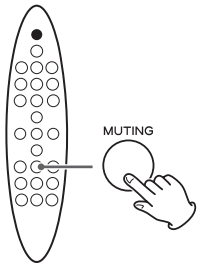


● 設定したあとスリープボタン(SLEEP)を1回押すと、電源がスタンバイ(オフ)になるまでの残り時間が数秒間表示されます。

● スリープタイマーを解除するには、「--」が表示されるまでスリープボタン(SLEEP)を繰り返し押します。

一時的に音を消す

一時的に音を消すことができます。



消音(MUTING)ボタンを押します。再度押すと元の音量に戻ります。

● 消音中は、ディスプレーに「MUTE」が点滅します。

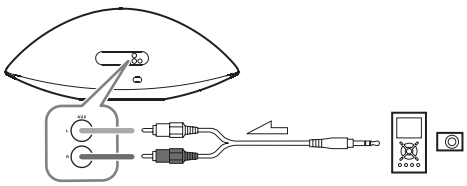
● 消音中に音量を変更したり、ソースを切り換えたりすると、消音は解除されます。

接続した機器の音を聴く

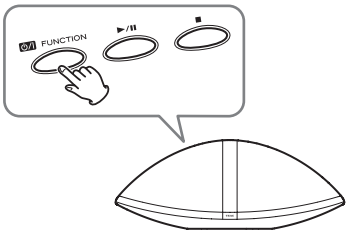
携帯型オーディオプレーヤーなどの音声出力端子またはヘッドホン端子と接続して、本機で音声を再生します。

● お使いのiPodが本機のドックにセットできない機種の場合、この方法でお聴きください。

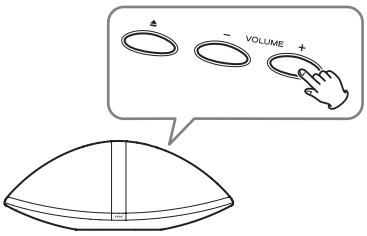
1 **本機のアナログ音声入力端子(AUX)と携帯型オーディオプレーヤーなどのヘッドホン端子(または音声出力端子)とを、市販のRCAピン-ステレオプラグミニケーブルで接続する。**



2 **入力切換ボタン(FUNCTION)を押して「AUX」を選ぶ。**



3 **接続した機器の再生を始め、音量を調節する。**

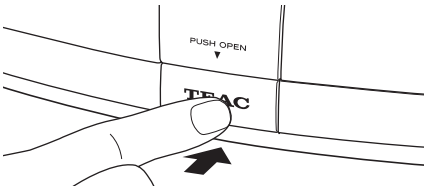


● ポータブルプレーヤー等のヘッドホン端子と接続した場合は、プレーヤー側の音量を上げないと、本機から音が聴こえません。

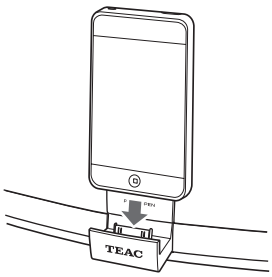
● プレーヤー側の音量を上げすぎると、音が歪むことがあります。その場合は、まず接続した機器の音量を歪みが無くなるまで小さくしてから、本機の音量を調節してください。

iPodを聴く

1 前面の「TEAC」マークを押して、ドックを開く。



2 ドックにiPodを差し込む。



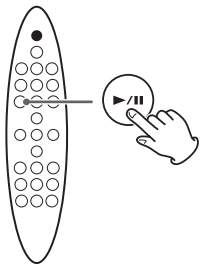
電源がオンになり、iPodのプレイリストの再生が始まります。

すでにiPodがセットされている場合は、入力切換ボタン(FUNCTION)を押して「iPod」を選ぶと、自動的に再生が始まります。

- 本機のドックにiPodをセットすると、本機の電源プラグが電源に接続されている間は常にiPodを充電します。iPodの種類によっては、充電できないものもあります。
- 電源をスタンバイ(オフ)にしたときに、iPodがドックにセットされていると、ディスプレーに時計が表示され、iPodが充電されます。iPodをドックから抜いて90秒以上経つと、スタンバイ(オフ)になり、スタンバイインジケーターが点灯します。
- iPodにヘッドホンが差し込まれている場合、本機のスピーカーとヘッドホンの両方から音が出ます。

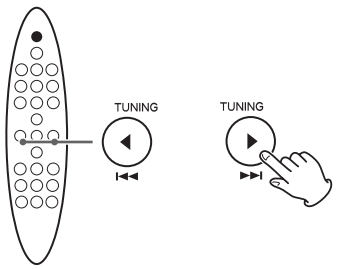
iPod touchのビデオの注意
iPod touchのビデオの音を本機で聴きたいときは、最初にiPod touchをドックにセットしてから本機とiPod touchを操作してください。

再生を一時停止する



再生中に再生/一時停止ボタン(►/II)を押すと再生が一時停止します。
一時停止中に再生/一時停止ボタン(►/II)を押すと、再び再生を始めます。

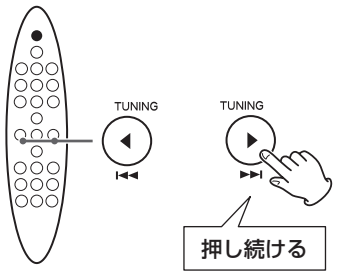
曲をスキップする



再生中にスキップボタン(I◄◄/►►I)を押すと、前または次の曲にスキップして再生を始めます。希望する曲番になるまで、続けて押してください。
選択された曲の始めから再生を始めます。

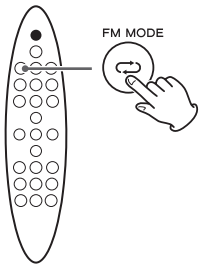
- 再生中は、I◄◄を1回押すと再生中の曲の始めに戻ります。それより前の曲を再生したいときは、I◄◄を続けて押してください。

早送り/早戻しする



再生中にスキップボタン(I◄◄/►►I)を押したままでいると、早送り/早戻しができます。聴きたい部分で指をはなしてください。

リピート再生



再生中にリピートボタン(🔁)を押して、リピートのモードを切り換えます。ディスプレーに「REP MODE」と表示されます。

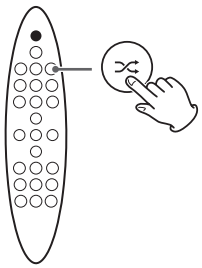
リピートボタン(🔁)を押すたびに、以下のようにiPodのリピートのモードが切り換わります。

→ 1曲リピート → 全てリピート
オフ ←

● 「1曲リピート」にしたときには、iPodのディスプレーに 🔂 が表示されます。

● 「全てリピート」にしたときには、iPodのディスプレーに 🔁 が表示されます。

シャッフル再生



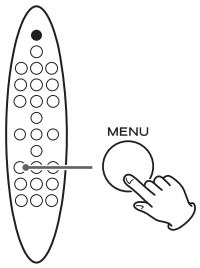
再生中にシャッフルボタン(🔀)を押して、シャッフルのモードを切り換えます。ディスプレーに「RANDOM」と表示されます。

シャッフルボタン(🔀)を押すたびに、以下のようにiPodのシャッフルのモードが切り換わります。

→ 曲 → アルバム
オフ ←

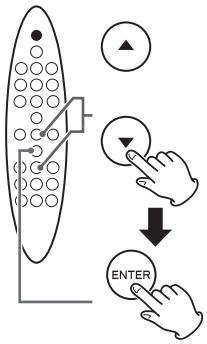
● シャッフルをオンにしたときには、iPodのディスプレーに 🔀 が表示されます。

iPodの前のメニューに戻る



メニューボタン(MENU)を押すと、ひとつ前のメニューを表示します。iPodのMENUボタンと同じ機能です。

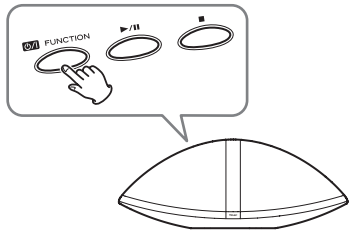
iPodのメニュー項目を選ぶ



スクロールボタン(▲/▼)を使って項目を選び、エンターボタン(ENTER)を押してください。

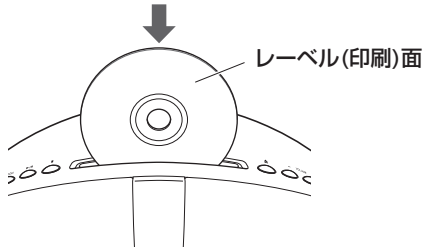
ディスクを聴く

1 入力切換ボタン(FUNCTION)を押して「CD」を選ぶ。



● ディスクがセットされていないときは、ディスプレーに「NO DISC」と表示されます。

2 レーベル面を手前にして、ディスクを挿入口に入れる。



ディスクは自動的に引き込まれます。引き込まれ始めたら手を離してください。

最初の曲から自動的に再生が始まります。

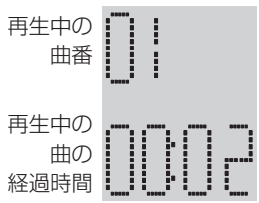
- ディスクを強く押し込まないでください。
- 複数のディスクを一度に挿入しないでください。
- ラベルやセロハンテープなどをディスクに貼らないでください。
- 8cmのCDや特殊形状のCDは使用しないでください。

故障の原因になります。

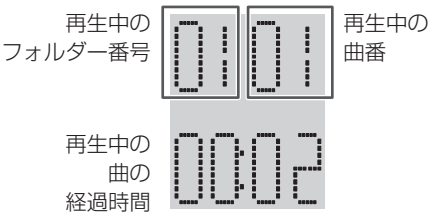
● ディスクの読み込みには多少時間がかかります。読込みの間は全てのボタンが機能しません。

再生中のディスプレー表示(例)

オーディオCD

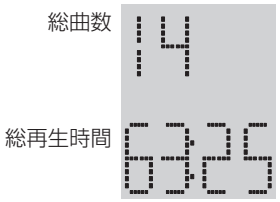


MP3/WMAディスク

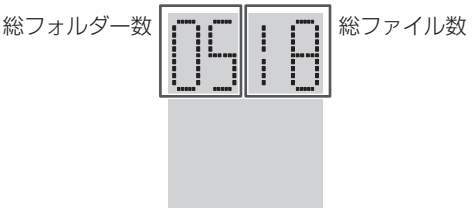


停止中のディスプレー表示(例)

オーディオCD



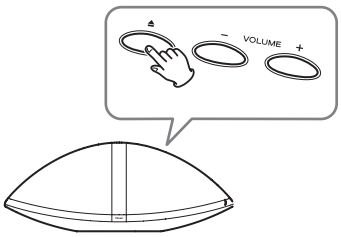
MP3/WMAディスク



● フォルダーに入っていないMP3/WMAファイルは、自動的に「01(root)」フォルダーに入れられます。再生は「01(root)」フォルダーの1曲目から始まります。
● 全ての曲の再生が終わると、自動的に停止します。
● MP3/WMAファイルの再生順については29ページをご覧ください。

⚠ ディスクが内部に入っているときに、本機を傾けないでください。故障の原因になります。

ディスクの取出し



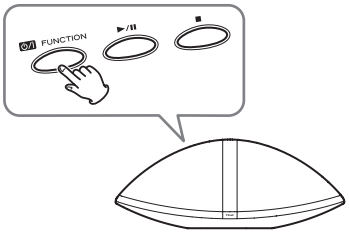
取出しボタン(⏏)を押します。

● 再度入れるときは、完全にディスクを引き出してから再び入れてください。

USBメモリーを聴く

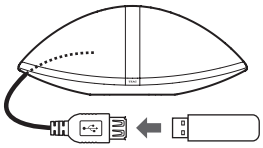
⚠ 大容量のHDDを使用しないでください。本機ではUSBフラッシュメモリーのみが使えます。

1 入力切換ボタン(FUNCTION)を押して「USB」を選ぶ。



● USBメモリーがセットされていないときは、ディスプレーに「NO USB」と表示されます。

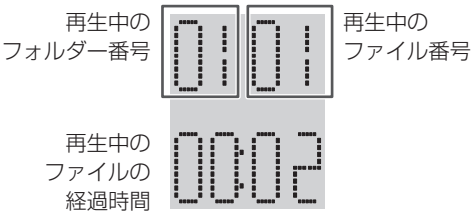
2 背面のUSBポートに付属のUSBケーブルを接続し、USBメモリーを接続する。



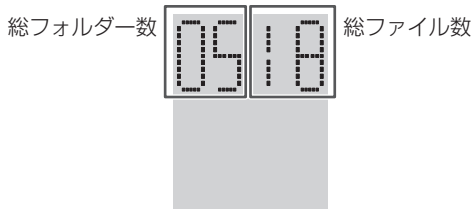
コネクタの向きに
ご注意ください

最初のファイルから自動的に再生が始まります。

再生中のディスプレー表示(例)



停止中のディスプレー表示(例)

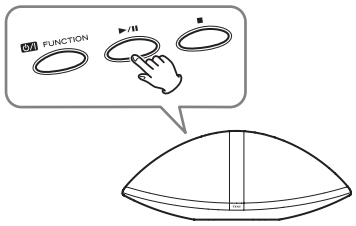


● フォルダーに入っていないMP3/WMAファイルは、自動的に「01(root)」フォルダーに入れられます。再生は「01(root)」フォルダーの1曲目から始まります。

● MP3/WMAファイルの再生順については29ページをご覧ください。

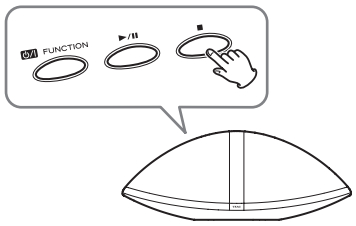
基本再生

再生を一時停止する



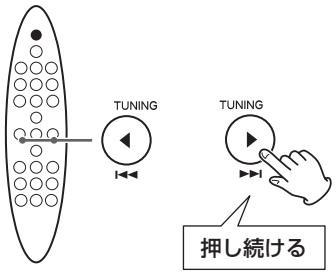
再生中に再生/一時停止ボタン(►/II)を押すと再生が一時停止します。
一時停止中に再生/一時停止ボタン(►/II)を押すと、再び再生を始めます。

再生を停止する



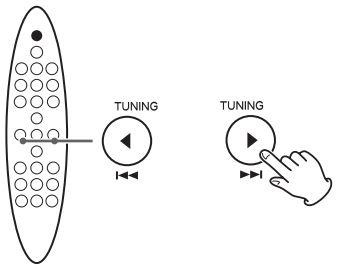
停止ボタン(■)を押すと再生が停止します。

早送り/早戻しする



再生中にスキップボタン(I◄◄ / ►►I)を押したままでいると、早送り/早戻しができます。聴きたい部分で指をはなしてください。

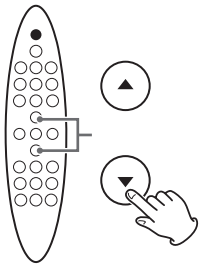
曲をスキップする



スキップボタン(I◄◄ / ►►I)を押すと、前または次の曲にスキップします。希望する曲になるまで、続けて押してください。
選択された曲の始めから再生を始めます。

- 再生中は、I◄◄を1回押すと再生中の曲の始めに戻ります。それより前の曲を再生したいときは、I◄◄を続けて押してください。
- プログラム再生中は、プログラム中の前または後ろの曲にスキップします。
- スキップ機能は、オーディオCDの停止中には機能しません。

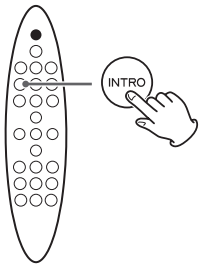
フォルダーを選ぶ
(MP3/WMAディスク、USBのみ)



スクロールボタン(▲/▼)を使ってフォルダーを選びます。

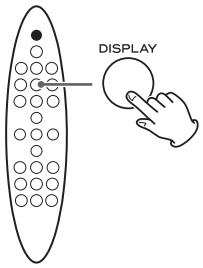
イントロ再生

曲の頭の部分だけを連続して再生することができます。



イントロボタン(INTRO)を押すと、ディスプレーに「INTR ON」と表示され、各曲の冒頭部分が順番に10秒ずつ再生されます。
イントロチェック中に聴きたい曲が見つかった場合は、イントロボタン(INTRO)を再度押すとディスプレーに「INTR OFF」と表示され、通常の再生に戻ります。

ディスプレーの切換え



オーディオCD
再生中にディスプレーボタン(DISPLAY)を押すたびに、以下のようにディスプレーの2行目の表示が変わります。

再生中の曲の経過時間
↓
再生中の曲の残り時間
↓
ディスクの経過時間
↓
ディスクの残り時間
↑

MP3/WMAファイル
再生中にディスプレーボタン(DISPLAY)を押すと、以下のファイル情報がスクロール表示されます。

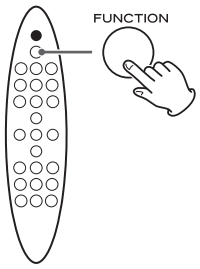
タイトル
↓
アーティスト
↓
アルバム
↑

- タイトル/アーティスト/アルバムの最初の30文字が表示されます。
- 本機のディスプレーでは1バイトの半角英数字以外は正しく表示できません。2バイト文字(日本語・中国語・韓国語など)や、半角カタカナなどの英数字以外の1バイト文字が使われいる場合、再生は可能ですがディスプレーには、正しく表示されません。

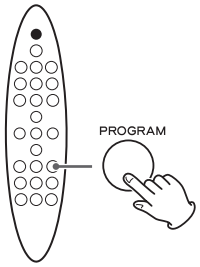
プログラム再生

再生したい順番に20曲までプログラムすることができます。

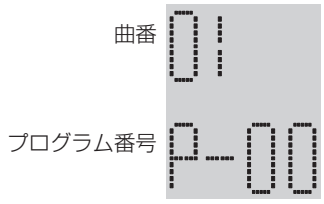
1 入力切換ボタン(FUNCTION)を押して「CD」または「USB」を選ぶ。



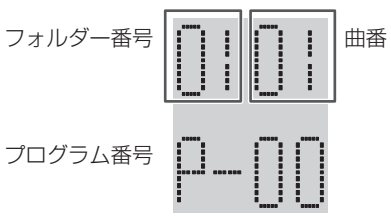
2 停止中にプログラムボタン(PROGRAM)を押す。



オーディオCD(例)

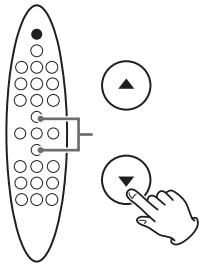


MP3/WMAファイル(例)

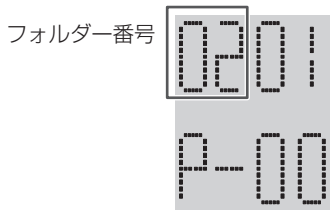


● プログラムを中止するには、停止ボタン(■)を押します。

3 (MP3/WMAファイルのプログラムの場合)スクロールボタン(▲/▼)を押して、MP3/WMAディスク、またはUSBメモリーのフォルダーを選ぶ。

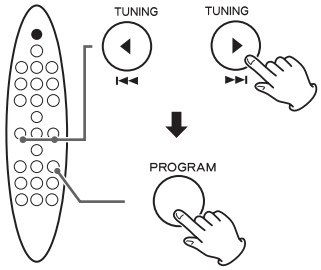


(例)

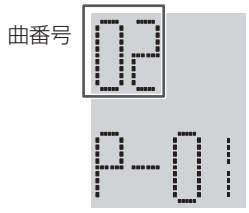


● フォルダーに入っていないMP3/WMAファイルは、「01(root)」フォルダーに入っています。

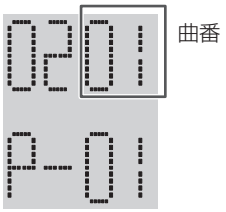
4 カーソルボタン(◀/▶)を押して曲を選び、プログラムボタン(PROGRAM)を押す。



オーディオCD(例)



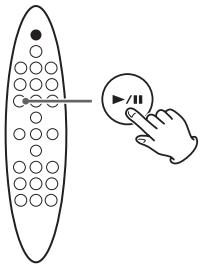
MP3/WMAファイル(例)



選択した曲がプログラムされ、「P-01」が表示されます。

● 複数の曲をプログラムするには、**3**～**4**の手順を繰り返してください。

5 プログラムが終わったら、再生/一時停止ボタン(►/❚❚)を押してプログラム再生を始める。

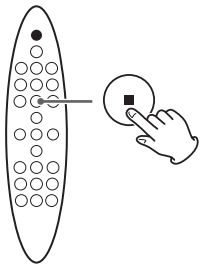


● プログラム再生が終了した後に、再びプログラム再生をするには、再生/一時停止ボタン(►/❚❚)を押します。

● プログラム再生中にスキップボタン(I◄◄ / ►►I)を押して、プログラム中の他の曲を選ぶことができます。

● プログラム再生中にシャッフル再生はできません。

プログラム内容の消去



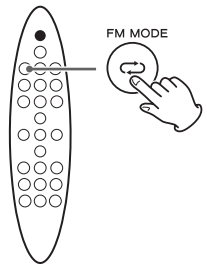
停止中に、停止ボタン(■)を押します。

● 以下の場合にも、プログラム内容が消去されます。

入力ソースの切換え
電源ボタン(STANDBY/ON)(⏻)を押す
ディスクの取出し
USBメモリーの取外し
電源コードを抜く

CD USB

リピート再生



リピートボタン(🔁)を押すたびに、以下のようにリピートのモードが変わります。

REP ONE
↓
REP ALB
(MP3/WMAディスク、USBメモリーのみ)
↓
REP ALL
↓
REP OFF
(リピートオフ)

REP ONE(1曲リピート)

再生中にリピートボタン(🔁)を1度押します。
ディスプレーに「REP ONE」と表示されます。

再生中の曲が繰返し再生されます。

REP ALB(フォルダーリピート)
(MP3/WMAディスク、USBメモリーのみ)

リピートボタン(🔁)を2度押します。
ディスプレーに「REP ALB」と表示されます。

選択中のフォルダーの曲が繰返し再生されます。

REP ALL(全曲リピート)

リピートボタン(🔁)を2度(MP3/WMAファイルの場合は3度)押します。
ディスプレーに「REP ALL」と表示されます。

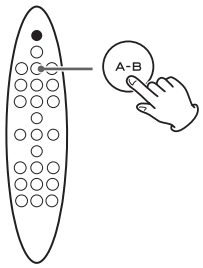
全曲が繰返し再生されます。

プログラム再生中は、プログラムした曲が繰返し再生されます。

A-Bリピート

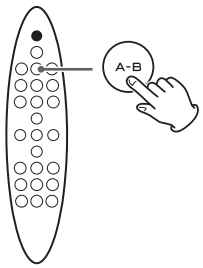
曲の中の特定の部分を繰返し再生できます。

1 再生中に、開始したい部分でA-Bボタンを押す。



ディスプレーに「A-」と表示されます。

2 終了したい部分になったら、再びA-Bボタンを押す。

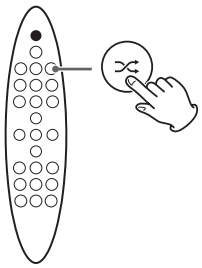


指定された部分が繰返し再生されます。

- 通常の再生に戻るには、A-Bボタンか、停止ボタン(■)を押します。
- 開始点(A)と終了点(B)の間は3秒以上必要です。
- 開始点(A)と終了点(B)のは同じ曲でなければいけません。開始点(A)を設定した後に曲が変わった場合は、A-Bリピートはキャンセルされます。

CD USB

シャッフル再生



再生中に、シャッフルボタン(⤮)を押します。
ディスプレーに「RAN ON」と表示され、曲がランダムに再生されます。

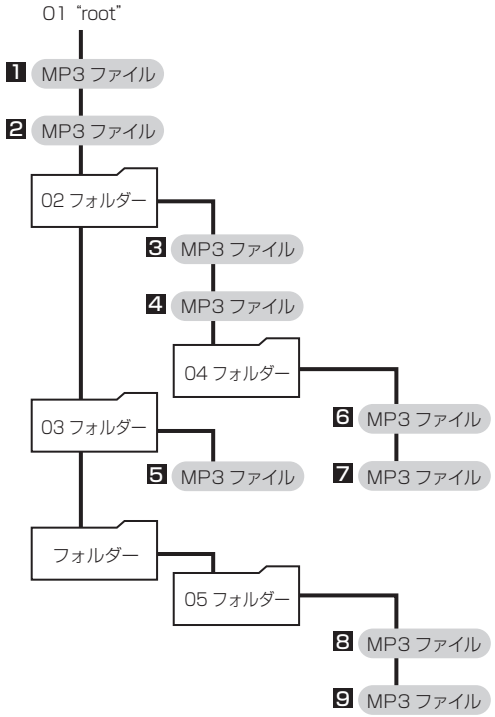
- シャッフル再生中に ▶▶I ボタンを押すと、次の曲がランダムに選択されます。
  I◀◀ ボタンを押すと、再生中の曲の頭に戻ります。
  I◀◀ ボタンを2度以上押すと、別の曲がランダムに選ばれて再生されます。
- シャッフル再生中は、再生が終わった曲には戻れません。
- シャッフル再生をキャンセルするには、シャッフルボタン(⤮)を押します。ディスプレーに「RAN OFF」と表示されます。
- シャッフル再生を停止するには、停止ボタン(■)を押します。また、この操作はシャッフル再生をキャンセルします。

CD USB

MP3/WMAファイルの再生順

MP3/WMAファイルを収録したCDやUSBメモリーには、通常のパソコンのファイルの扱いと同じように、MP3/WMAファイルをフォルダーに収納しているものがあります。さらに、いくつかのフォルダーをまとめて1つのフォルダーに収めているものもあります。

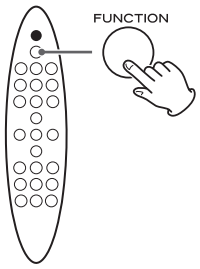
本機でMP3/WMAディスクを再生するときのフォルダー番号とファイルの再生順(1〜9)の例



- 上記の図の順番は、ファイルやフォルダーを追加/削除したり、位置を変えたりすることによって変わることがあります。

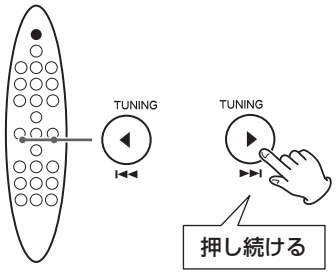
FMラジオを聴く

1 入力切換ボタン(FUNCTION)を押して「FM」を選ぶ。



2 選局する。

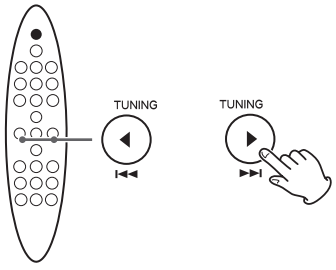
自動選局



選局ボタンを押し続けて、自動選局が始まったら指をはなしてください。
放送局を受信すると自動的に止まります。
聴きたい放送局が見つかるまで繰り返してください。

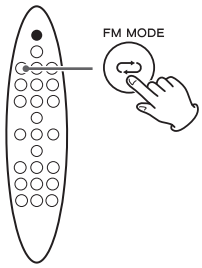
● 自動選局を停止するには、選局ボタンを軽く押します。

マニュアル選局



選局ボタンを押すと、一定のステップで周波数が変わります。
聴きたい放送局が見つかるまで繰り返し押してください。

ステレオ/モノラルの切換え



FMモードボタン(FM MODE)を押すと、オート受信とモノラル受信が切り換わります。

オート受信
ステレオ放送受信中は、ステレオで聴こえます。モノラル放送受信中は、モノラルで聴こえます。

● ステレオ放送の信号が十分に受信できず、音が歪んだり途切れたりする場合は、モノラル受信に切り換えてください。

モノラル受信
FM放送をモノラルで受信します。
ステレオ放送の受信状態が悪いときはこのモードを選んでください。音はモノラルになりますがノイズを減らすことができます。

受信状態が悪いときは

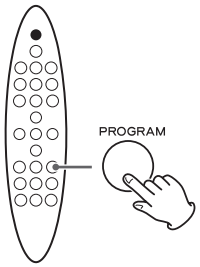
受信状態が悪いときは、FMアンテナの向きを変えたりして、最も良く受信できる位置を探してください。

FM放送局のプリセット

よく聴く局を、20局まであらかじめ登録(プリセット)しておくことができます。

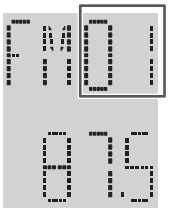
1 登録する放送局を受信する。(前のページ)

2 プログラムボタン(PROGRAM)を押す。



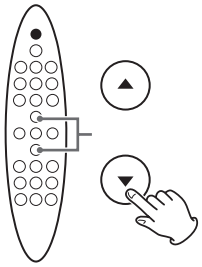
プリセット番号が点滅します。

(例)

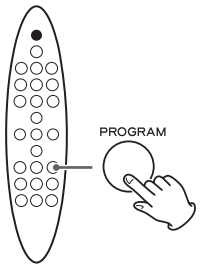


プリセット番号

3 スクロールボタン(▲/▼)を押して、放送局を登録したいプリセット番号を選ぶ。



4 プログラムボタン(PROGRAM)を押す。

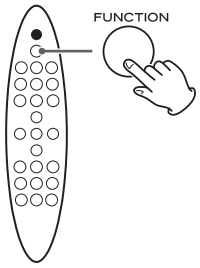


選択されたプリセット番号に放送局が登録されます。

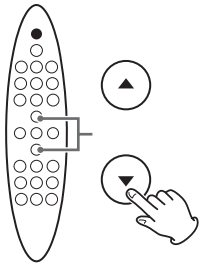
他の放送局をさらに登録するときは、**1**から**4**の手順を繰り返します。

登録した放送局を聴くには

1 入力切換ボタン(FUNCTION)を押して「FM」を選ぶ。



2 スクロールボタン(▲/▼)を押して、登録した放送局を選ぶ。



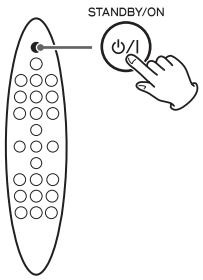
目覚ましタイマー

設定した時間になると電源がオンになるように、目覚ましタイマーを設定できます。

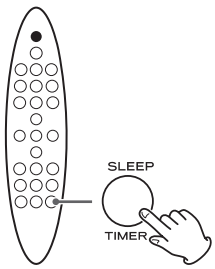
● 目覚ましタイマーを設定する前に、現在時刻を設定してください。(16ページ)

設定のしかた

1 **電源がオンになっている場合、電源ボタン(STANDBY/ON)(⏻/I)を押してスタンバイ(オフ)にする。**



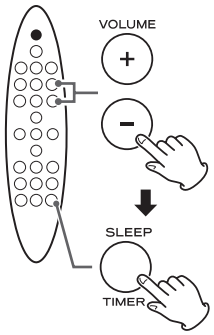
2 **タイマーボタン(TIMER)を「ALM SET」が表示されるまで繰り返し押す。**



「時」表示が点滅します。

● 30秒以上放置すると、目覚ましタイマー設定モードは解除されます。

3 **音量ボタン(VOLUME)(+/–)を押して「時」を合わせ、タイマーボタン(TIMER)を押す。**



「分」表示が点滅します。

4 **音量ボタン(VOLUME)(+/–)を押して「分」を合わせ、タイマーボタン(TIMER)を押す。**

目覚ましタイマーの「ON(オン)」または「オフ(OFF)」が点滅します。

5 **音量ボタン(VOLUME)(+/–)を押して「ON」を選び、タイマーボタン(TIMER)を押す。**

目覚ましタイマーの設定が終了し、「ON」と現在時刻が表示されます。

設定した時間になると、最後に選択されていたソースが再生されます。

● 目覚ましタイマーをオフにするには、**5** で「OFF」を選びます。

設定した時間になって電源がオンになると、自動的にスリープタイマーが「SLEEP 60」になり、60分後に電源がスタンバイ(オフ)になります。
続けて聴きたい場合は、設定した時間になった後にスリープボタン(SLEEP)を繰返し押して、「--(オフ)」にしてください。

iPod touchでSR-100iSEの目覚ましタイマーを使うときの注意

● iPod touchで「電源をオフ」にすると、SR-100iSEのドックにiPod touchを接続しても目覚ましタイマーでオンにできません。
目覚ましタイマーでiPod touchを使用する場合は、iPod touchの「電源をオフ」にしないでください。(画面のオフなどは問題ありません)

● iPod touchでビデオの選択画面になっていると、SR-100iSEのドックにiPod touchを接続しても目覚ましタイマーでオンにできません。
目覚ましタイマーでiPod touchを使用する場合は、ビデオ以外を選択するようにしてください。

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。
それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)にご連絡ください。

一般

電源が入らない。
➡ 電源プラグをコンセントに差し込んでください。差し込みが不完全ではないかを確認してください。

スピーカーから音が出ない。
➡ 入力切換ボタン(FUNCTION)を押して、入力ソースを選んでください。
➡ 音量を調節してください。
➡「MUTE」が点滅しているときは、消音ボタン(MUTING)を押してください。

雑音がする。
➡ テレビや電子レンジなど、電磁波を出すものからはできるだけ離して設置してください。
➡ 本体左側に放熱用のファンが内蔵されています。周囲の環境により回転音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。

リモコンで操作できない。
➡ 電源ボタン(⏻/I)を押して、本体の電源をオンにしてください。
➡ 電池が消耗していたら、新しい電池に交換してください。
➡ リモコンは本体の正面から5メートル以内の距離で、本体の方を向けて操作してください。
➡ 本体とリモコンの間に障害物があると操作できませんので、位置を調整してください。
➡ 本体の近くに強い光の照明がある場合は、照明を切ってください。

電源がスタンバイ(オフ)にならない。(iPod touch/iPhoneをソースにしている場合)
➡ iPod touch/iPhoneでiPod以外のアプリケーションを使用しているときはSR-100iSEの電源をスタンバイ(オフ)にする操作をしても、すぐに再びオンになる場合があります。(iPod touch/iPhoneの電源をオフにできないため) SR-100iSEの電源をスタンバイ(オフ)にするときは、iPod以外のアプリケーションを終了してからスタンバイ(オフ)にしてください。

音量を6から7、または7から6に変えたときに音が途切れる。
➡ 内蔵の回路の動作が切り替わるため、音が約0.5秒途切れます。故障ではありません。

iPod

iPodをドックにセットできない。
➡ 本体のドックコネクターやiPodのコネクタ部分からほこりやゴミを取り除いてください。

iPodの操作ができない。
➡ iPodのホールドスイッチを解除してください。

再生できない。
➡ iPodをいったん本体から外し、数秒経ってからもう一度セットしてみてください。
➡ 最新のiPodソフトウェアにアップデートすることで問題が解決することがあります。
Appleのサイトにアクセスして最新のソフトウェアをダウンロードしてください。

ラジオ

受信できない。受信状態が悪い。
➡ 放送局を選局してください。
➡ FMアンテナと本体の位置や向きを変えてみてください。

CDプレーヤー

再生できない。
➡ ディスクが裏返しになっている場合は、ディスクのレーベル面を手前にして入れ直してください。
➡ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。
➡ 何も録音されていないディスクが入っている場合は、録音されているディスクを入れてください。
➡ ディスクの品質や録音状態によっては、CD-R/CD-RWを再生できないことがあります。
➡ ファイナライズされていないCD-R/CD-RWは本機で再生できません。

MP3/WMAファイル

再生できない。
➡ ファイルの拡張子を確認してください。MP3ファイルの認識はファイル拡張子「.mp3」、WMAファイルの認識はファイル拡張子「.wma」で行います。
➡ MP3/WMAファイルが破損している可能性があります。
➡ ファイルのフォーマットを確認してください。本機で再生できるのは、MP3/WMAファイルです。

次のページに続きます ➡

困ったときは (続き)

曲名、アーティスト名、アルバム名が表示されない。

➡ ファイルにID3タグが入っていません。パソコンなどでID3タグを編集したMP3/WMAファイルを作成し直してください。

正しく表示されない文字がある。

➡ ファイル名に日本語や中国語などの全角文字(2バイト文字)が使われている場合、再生は可能ですがディスプレーに正しく表示できません。

スリープタイマー

設定した時間になってもスタンバイ(オフ)にならない。(iPod touchをソースにしている場合)

➡ iPod touchでiPod以外のアプリケーションを使用しているときはSR-100iSEのスリープタイマーの設定時間にSR-100iSEの電源がスタンバイ(オフ)になっても、すぐに再びオンになる場合があります。(iPod touchの電源をオフにできないため) スリープタイマーを使うときは、iPod以外のアプリケーションを終了してからお使いください。

目覚ましタイマー

した時間になってもオンにならない。

➡ 電源がオンになっている場合、電源ボタン(⏻/I)を押して電源をオンにしてください。

➡ (iPod touchをソースにしている場合)
Pod touchで「電源をオフ」にすると、本機のドックにiPod touchを接続しても目覚ましタイマーでオンにできません。目覚ましタイマーでiPod touchを使用する場合は、iPod touchの「電源をオフ」にしないでください。(画面のオフなどは問題ありません)

➡ (iPod touchをソースにしている場合)
iPod touchでビデオの選択画面になっていると、本機のドックにiPod touchを接続しても目覚ましタイマーでオンにできません。目覚ましタイマーでiPod touchを使用する場合は、ビデオ以外を選択するようにしてください。

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合は一旦電源プラグをコンセントから抜き、しばらくしてから再び電源を入れて操作しなおしてください。

仕　様

チューナー部

受信周波数(FM) . . . . . 76.0MHz ～ 90.0MHz (0.1MHz ステップ)

CDプレーヤー部

使用ディスク . . . . . CD/CD-R/CD-RW(12cm)
再生可能フォーマット . . . . CD-DA、MP3/WMAファイル
周波数特性 . . . . . 20Hz～20kHz(±1dB)
ワウ・フラッター . . . . . 測定限界以下
全高調波歪率 . . . . . 0.05%(1kHz、0dB)

USB部

対応USB機器 . . . . . USBマスストレージクラスデバイス
インターフェース USB1.1
ファイルシステム . . . . . FAT 16/32
USB出力電圧 DC5V
USB供給電流 . . . . . 最大 100mA

再生フォーマット(MP3/WMA)

MP3
対応規格 . . . . . MPEG-1/2 Audio Layer-3
拡張子 mp3
サンプリング周波数 . . . . . 16 ～ 48kHz
ビットレート . . . . . 8k ～ 320kbps

WMA
対応規格 Windows Media Audio Standard(DRM非対応)
拡張子 . . . . . .wma
サンプリング周波数 . . . . . 32、44.1、48kHz
ビットレート . . . . . 48k ～ 192kbps
最大フォルダー数 . . . . . 300 (ディスプレー表示は"99"まで)
最大ファイル数(各フォルダー) . . . . . 650 (ディスプレー表示は"99"まで)

アンプ部

実用最大出力 . . . . . 50W+50W

スピーカー部

エンクロージャー形式 . . . . . バスフレックス型
使用ユニット . . . . . 2ウエイ2スピーカー (ステレオ)
ツイーター部：38mm×2(8Ω)
ウーハー部：91mm×2(8Ω)
周波数特性 . . . . . 35 ～ 20,000Hz (-6dB)

一般

アナログ入力端子 . . . . . RCA×1系統
FMアンテナ端子 . . . . . F型(ワンタッチ式)×1
Mini USB端子 . . . . . USBメモリー接続用 (USB変換/延長ケーブル付属)

電源 . . . . . 100V AC, 50-60Hz
消費電力 60W
外形寸法(W×H×D) . . . . . 570 x 230 x 220mm
質量 5.4kg

付属品

リモコン(RC-1265)×1
リモコン用コイン型電池(CR2025)×1
FM簡易アンテナ×1
USBケーブル×1
電源コード×1
取扱説明書(本書)(保証書を含む)×1

● 仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
● 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

保証とアフターサービス (よくお読みください)

■保証書

この製品の保証書は、本書の裏表紙に記載されています。保証書は、お買い上げの際に販売店が「お買上げ日・販売店名」等を記入した上でお渡し致します。記入事項及び記載内容をご確認の上、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日から一年です。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または弊社AVお客様相談室(裏表紙に記載)にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

33ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)にご連絡ください。
なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料： 故障した製品を正常に修復するための料金です。測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。
部品代： 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
その他： 製品を送るために必要な送料/梱包料などがあります。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：CDサウンドシステム SR-100iSE
シリアルナンバー：
お買い上げ日：
販売店名：
お客様のご連絡先
故障の状況(できるだけ詳しく)

■廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要になる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

音のエチケット



楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまうことがあります。
適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、快適な生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

保証書

品名および型名	CDサウンドシステム SR-100iSE	
機番		
保証期間	本体	1年

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、取扱説明書に記載の弊社サービス部門またはお買上げの販売店に修理をご依頼ください。

お買上げ日	年　月　日	
お客様	お名前	
	ご住所	電話　(　)

見本

販売店	所在地・名称(印) 電話　(　)

無料修理規定 <持込修理>

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、弊社サービス部門が無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、下記ティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前に下記ティアック修理センターにお問い合わせください。
3. ご転居、ご贈答品等でお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、下記ティアック修理センターにご連絡ください。
4. 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
   (1) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
   (2) お買上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
   (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
   (4) 接続している他の機器に起因する故障および損傷
   (5) 業務用の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
   (6) メンテナンス
   (7) 本書の提示がない場合
   (8) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名 (印) の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※ この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、下記ティアック修理センターにお問い合わせください。

※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間についての詳細は、取扱説明書をご覧ください。

ティアック株式会社　〒206-8530　東京都多摩市落合1-47　http://www.teac.co.jp/

この製品のお取り扱い等についてのお問い合わせは

AVお客様相談室までご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～12:00/13:00～17:00です。

AVお客様相談室

0570-000-701
一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒206-8530　東京都多摩市落合1-47
電話：042-356-9235 / FAX：042-356-9242

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～17:00です。

ティアック修理センター

0570-000-501
一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒358-0026　埼玉県入間市小谷田858
電話：04-2901-1033 / FAX：04-2901-1036

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。
- 新電電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。その場合はご契約されている新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

0811・MA-1752A